

BYK-P 9915

版番号 1.0

1 / 8

改訂日: 2014/04/13

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: BYK-P 9915
用途	: 粘度調整剤
供給者情報	
供給者の会社名称	: ビックケミー・ジャパン株式会社
住所	: 東京都新宿区市谷本村町3-29
電話番号	: 03-6457-5501
FAX番号	: 03-6457-5502
電子メールアドレス	: GHS.BYK@altana.com
緊急連絡電話番号	: East/South East Asia +65 3158 1074

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼刺激性 : 区分2A

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 強い眼刺激

注意書き :

安全対策:

取り扱い後は皮膚をよく洗うこと。

保護眼鏡/ 保護面を着用すること。

応急措置:

眼に入った場合: 水で数分間 注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非 : 情報無し。

常事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: ポリオキシアルキレン誘導体混合物

危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度又は濃度範囲 [%]
ポリエチレングリコールモノメチルエーテル	-	>= 50 - < 60
トリエチレングリコールモノブチルエーテル	143-22-6	>= 30 - < 40

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 意識がない場合は、安静にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

5. 火災時の措置

- 使ってはならない消火剤 : 大量の水噴霧
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
- 環境に対する注意事項 : 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性接着剤、汎用接着剤、おがくず）で吸収させる。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

BYK-P 9915

版番号 1.0

3 / 8

改訂日: 2014/04/13

取扱い

安全取扱注意事項 : 蒸気/粉塵を吸い込まない。
皮膚や眼への接触を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

衛生対策

: 使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や終業時には手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

8. ばく露防止及び保護措置

成分別作業環境管理濃度/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	基準
ポリエチレングリコールモノメチルエーテル	-	TWA	10 mg/m ³	US AIHA WEEL

保護具

手の保護具
備考

: 適切な手袋を着用すること。

眼の保護具

: 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。

皮膚及び身体の保護具

: 不浸透性衣服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 液体
色 : 無色
臭い : わずかに臭いあり
pH : データなし
融点・凝固点 : < 0 °C

BYK-P 9915

版番号 1.0

4 / 8

改訂日: 2014/04/13

初留点	: > 200 ° C
引火点	: 152 ° C
爆発範囲の上限	: 9.20 % (V)
爆発範囲の下限	: 0.80 % (V)
蒸気圧	: < 1.0000000 hPa (20.00 ° C)
密度	: 1.0500 g/cm ³ (20.00 ° C)
かさ密度	: 非該当
溶解度	
水溶性	: 相溶
自然発火温度	: > 200 ° C, 013 hPa
粘度	
粘性率	: < 50 mPa. s (20 ° C)
動粘度	: データなし データなし
表面張力	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通り保管/適用すれば分解しない。
化学的安定性	: 指示通り保管/適用すれば分解しない。
危険有害反応可能性	: 指示通り保管/適用すれば分解しない。
避けるべき条件	: データなし
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報**急性毒性****製品:**

急性経口毒性 :

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

製品:

備考: データなし

備考: 皮膚に刺激を感じる人もいる。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

製品:

備考: データなし

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

備考: データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

データなし

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

データなし

反復投与毒性

製品:

備考: データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

詳細情報

製品:

備考: データなし

12. 環境影響情報**生態毒性****製品:**

魚毒性 : 備考: データなし

残留性・分解性**製品:**

生分解性 : 備考: データなし

データなし

生体蓄積性**製品:**

生体蓄積性 : 備考: データなし

土壤中の移動性

データなし

他の有害影響

データなし

製品:

生態系に関する追加情報 : データなし

オゾン層への有害性

非該当

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 廃棄物を下水へ排出してはならない。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
未使用製品と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意**国際規制**

IATA-DGR

非危険物

IMDG-Code

非危険物

MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

適用外

国内規制

15項を参照。

特別の安全対策

非該当

15. 適用法令**関連法規****消防法**

第四類, 第3石油類, 水溶性, (4000 リットル), 危険等級III

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質は該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

がん原性物質

非該当

変異原性の認められた化学物質

非該当

変異原性が認められた化学物質の取扱いについて - 別紙 1: 変異原性が認められた届出物質に関する情報一覧

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

BYK-P 9915

版番号 1.0

8 / 8

改訂日: 2014/04/13

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

火薬取締法

非該当

船舶安全法

非該当

航空法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

海洋汚染物質に該当しない

高圧ガス保安法

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理などを安全に行って頂くために作成されました。記載されている情報はいかなる保証をするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、本SDSのデータはここで指定された物質についてのみ有効で、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。